

船橋市立リハビリテーション病院 第6次中期目標(案)参考資料

◎主な変更部分

・【目標1】～【目標3】 (p2～5)

直近の過去3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年と受けていない年が混在しており、クラスターの発生や、面会禁止による入院患者の早期退院希望などの様々な事情によって、診療実績にも少なからず影響が生じていることから、各目標値については、過去3年間の実績の平均値を維持する数値を提案する。

・【目標4】～【目標6】 (p6～8)

各目標における、入院・外来・訪問の満足度に差は見られないが、前回目標値がそれぞれ異なっているため、満足度の目標値については「満足」と「やや満足」を足したものの割合を90%、「満足」単独の割合を65%で統一することを提案する。

・【目標7】 (p9)

前回までの目標から変更なし

・【目標8】 (p10)

過去3年間の平均が前回目標を下回っており、かつ一度も前回目標値に達していないことから、目標値を下方修正することを提案する。

・【目標9】～【目標10】 (p11～13)

前回までの目標から変更なし

・【目標11】 (p14)

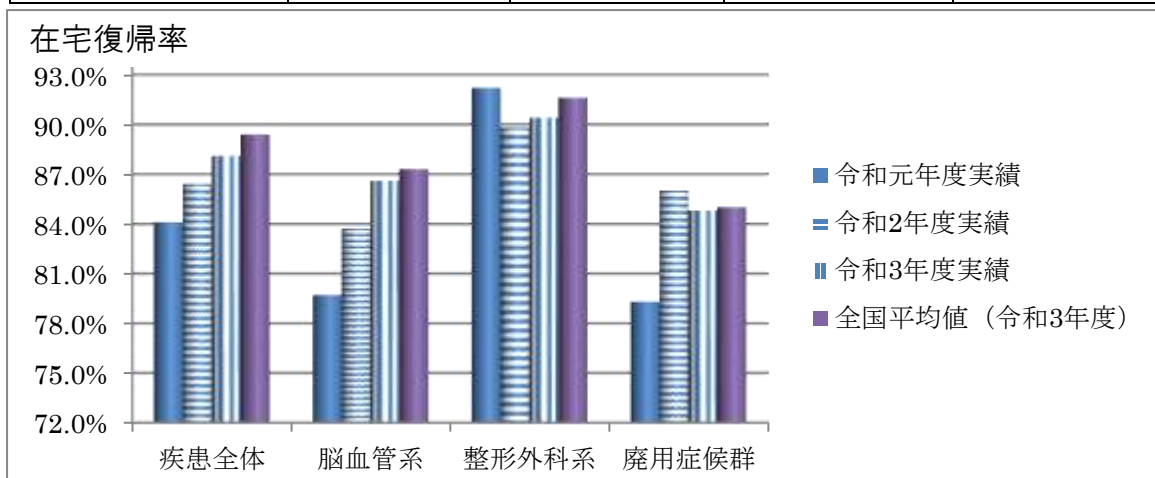
新型コロナウイルス感染症の影響下でも地域住民との良好な関係を築いていただくため、実施不可能となっている「地域住民が参加する懇談会や交流会」の部分で、「地域住民への情報発信や交流」と改めることを提案する。

(1) 患者及び家族に対して提供するサービスに関する事項

1) 診療成果等の医学的側面に関する事項

目標1	：在宅復帰率			
概要	：退院患者のうち、退院先が自宅を含む在宅系施設である者の割合。患者の第一の願いである「在宅復帰」が果たされているかどうかを測る。			
	目標値	参考値		
	疾患全体	脳血管系	整形外科系	廃用症候群
前回目標	87.0	84.0	93.0	85.0
目標(案)	86.0	83.0	90.5	83.0

過去3年間平均	86.2	83.3	90.8	83.4
令和3年度実績	88.1	86.6	90.4	84.8
令和2年度実績	86.4	83.7	89.8	86.0
令和元年度実績	84.1	79.7	92.2	79.3



参考

	疾患全体	脳血管系	整形外科系	廃用症候群
全国平均値 (令和3年度)	89.4	87.3	91.6	85.0
全国平均値 (令和2年度)	89.3	87.4	91.3	84.5
全国平均値 (令和元年度)	89.3	86.7	91.8	85.2

※全国平均値は、一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会

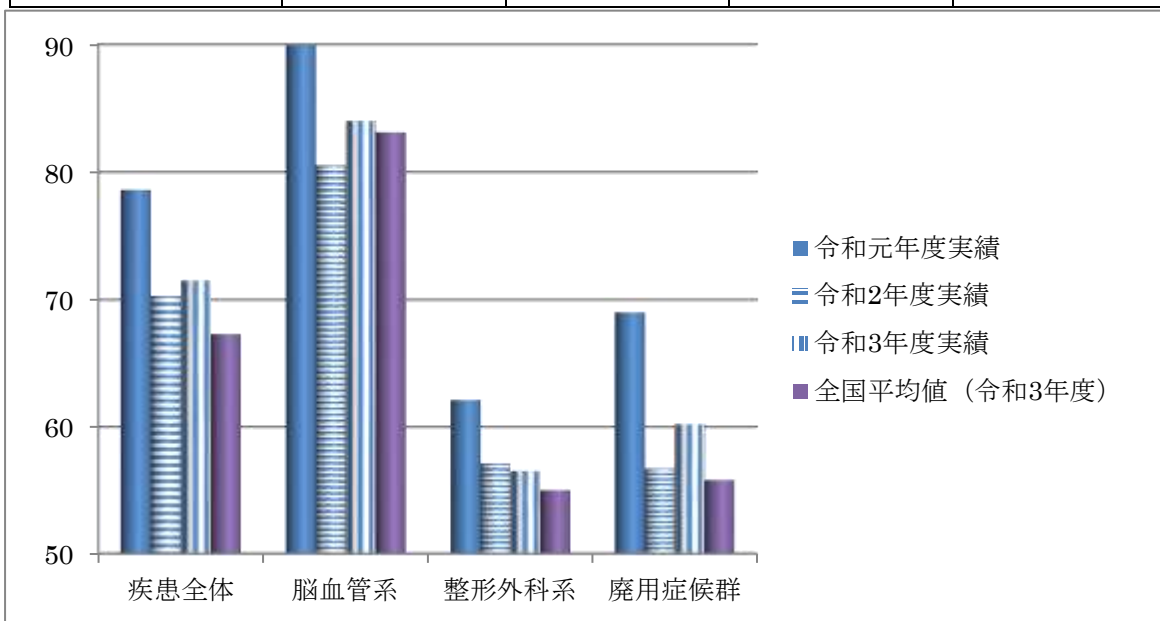
「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」を参考に算出

※「在宅復帰率」とは、当該病院において、退院患者(死亡・急性憎悪を除く)のうち他の保険医療機関へ転院した者等(同一の保険医療機関の他の病棟へ転院した患者、他の保険医療機関へ転院した患者及び介護老人保健施設に入所する患者)を除く者の割合のこと

目標2	: 市立リハビリ病院へ入院してから退院するまでの日数
概要	: 患者が市立リハビリ病院に入院してから退院するまでの平均日数。 「1日でも早い」在宅復帰支援ができているかどうかを測る。

	目標値	参考値		
	疾患全体	脳血管系	整形外科系	廃用症候群
前回目標	79.0日	90.0日	60.0日	60.0日
目標(案)	73.5日	85.0日	59.0日	62.0日

過去3年間平均	73.5日	84.8日	58.6日	62.0日
令和3年度実績	71.5日	84.0日	56.5日	60.2日
令和2年度実績	70.3日	80.5日	57.1日	56.7日
令和元年度実績	78.6日	89.9日	62.1日	69.0日



参考

	疾患全体	脳血管系	整形外科系	廃用症候群
全国平均値 (令和3年度)	67.3日	83.1日	55.0日	55.8日
全国平均値 (令和2年度)	65.6日	81.3日	53.4日	53.0日
全国平均値 (令和元年度)	67.5日	83.3日	54.9日	56.6日

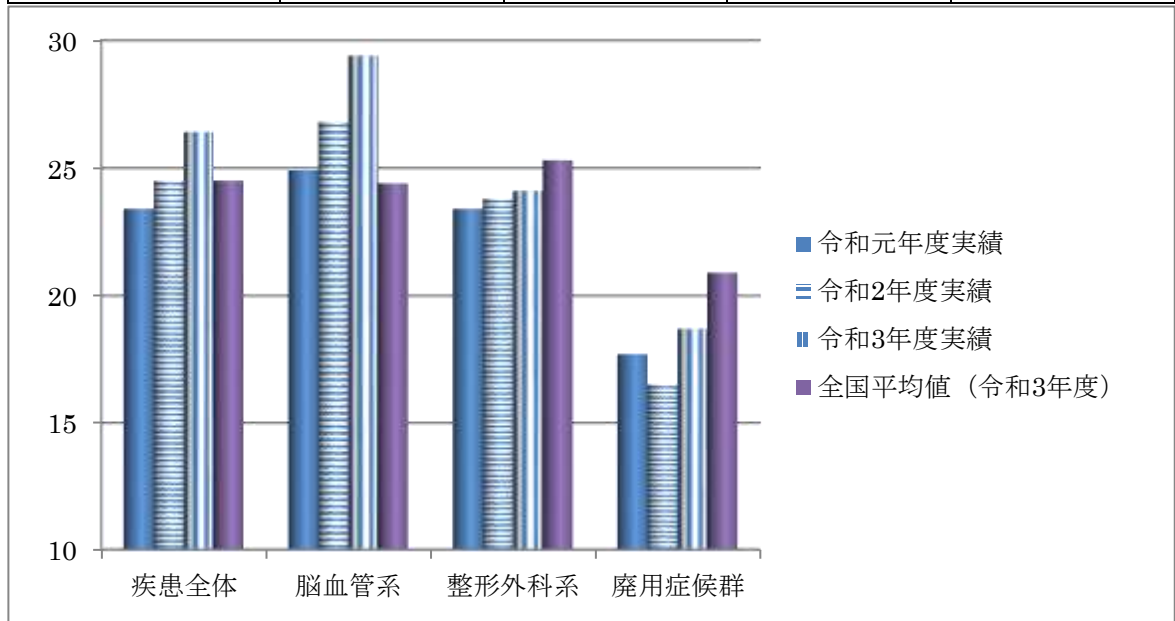
※全国平均値は、一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会

「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」による

目標3	:リハビリテーション効果(FIM)
概要	:入院時と比較して、退院時のADL(日常生活動作)がどれだけ向上したかを示す数値。「質の高い」リハビリを提供したかどうかを測る。

	目標値	参考値		
	疾患全体	脳血管系	整形外科系	廃用症候群
前回目標	24.0	25.5	23.0	15.0
目標(案)	24.5	27.0	23.5	17.5

過去3年間平均	24.8	27.0	23.8	17.6
令和3年度実績	26.4	29.4	24.1	18.7
令和2年度実績	24.5	26.8	23.8	16.5
令和元年度実績	23.4	24.9	23.4	17.7



参考

	疾患全体	脳血管系	整形外科系	廃用症候群
全国平均値 (令和3年度)	24.5	24.4	25.3	20.9
全国平均値 (令和2年度)	24.1	23.9	25.2	18.4
全国平均値 (令和元年度)	23.9	25.8	23.1	15.4

※全国平均値は、一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会

「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」による

注:FIM(機能的自立度評価)について

FIM(機能的自立度評価表) 全18項目 健常者は126点、全介助は18点

1 セルフケア	① 食事:咀嚼、嚥下を含めた食事動作
	② 整容:口腔ケア、整髪、手洗いなど
	③ 清拭:風呂、シャワーなど首から下(背中以外)を洗う
	④ 更衣(上半身):腰より上の更衣および義肢装具の装着
	⑤ 更衣(下半身):腰より下の更衣および義肢装具の装着
	⑥ トイレ:衣服の着脱、肺節後の清潔、生理用具の使用
2 排泄	① 排尿コントロール:排尿管管理、器具や薬剤の使用を含む
	② 排便コントロール:排便管理、器具や薬剤の使用を含む
3 移乗	① ベッド・椅子・車椅子:それぞれの間の移乗、起立動作を含む
	② トイレ:便器へ(から)の移乗
	③ 浴槽・シャワー:浴槽、シャワー室へ(から)の移乗
4 移動	① 歩行・車椅子:屋内での移動、または車椅子移動
	② 階段:12～14段の階段昇降
5 コミュニケーション	① 理解:聴覚または視覚によるコミュニケーションの理解
	② 表出:言語的または非言語的表現
6 社会認識	① 社会的交流:他患者、スタッフなどとの交流、社会的状況への順応
	② 問題解決:日常生活上での問題解決、適切な判断能力
	③ 記憶:日常生活に必要な情報の記憶

FIMの採点基準

採点基準	介助者	手出し
7点:完全自立	不要	不要
6点:修正自立	不要	不要 時間がかかる、補助具が必要、安全の配慮
5点:監視	必要	不要 監視、指示、促し
4点:最小介助	必要	必要 75%以上自分で行う
3点:中等度介助	必要	必要 50%以上、75%未満自分で行う
2点:最大介助	必要	必要 25%以上、50%未満自分で行う
1点:全介助	必要	必要25%未満しか自分で行わない

2)患者及びその家族の精神的・生活的側面に関する事項

目標4	：入院患者満足度
概要	：病院が提供する総合的な「サービス」に対し、患者がどれだけ満足しているかを退院時のアンケート調査により測る。5段階評価のうち「満足」と「やや満足」を足したものの割合を目標とする。また、「満足」単独の割合についても同様に目標とする。

項目	前回目標値 (括弧内は「満足」単独の割合)	目標値 (案)	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
当院のリハビリテーションについてご満足いただけましたか。	90% (70%)	90% (65%)	95% (78%)	97% (81%)	97% (84%)
当院に入院するまでの手続きや期間についてご満足いただけましたか。			95% (71%)	96% (79%)	96% (80%)
治療方針などの説明についてご満足いただけましたか。			94% (70%)	95% (71%)	94% (75%)
当院が行った退院後の生活に関する説明やご案内についてご満足いただけましたか。			91% (63%)	92% (68%)	95% (74%)
職員の対応についてご満足いただけましたか。			95% (80%)	97% (83%)	98% (86%)
療養環境についてご満足いただけましたか。			94% (76%)	98% (81%)	99% (83%)
プライバシーへの配慮についてご満足いただけましたか。			93% (71%)	94% (75%)	95% (73%)
院内の案内および掲示方法や内容についてご満足いただけましたか。			87% (57%)	89% (63%)	93% (71%)
食事についてご満足いただけましたか。			85% (58%)	87% (58%)	93% (69%)
看護や介護についてご満足いただけましたか。			93% (73%)	95% (76%)	97% (80%)

※前回目標値未満の実績を赤字にて記載

目標5	: 外来患者満足度
概要	: 病院が提供する総合的な「サービス」に対し、患者がどれだけ満足しているかを外来患者のアンケート調査により測る。5段階評価のうち「満足」と「やや満足」を足したものの割合を目標とする。また、「満足」単独の割合についても同様に目標とする。

項目	前回目標値 (括弧内は「満足」単独の割合)	目標値 (案)	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
当院のリハビリテーションについてご満足いただけましたか。	85% (65%)	90% (65%)	89% (61%)	90% (66%)	91% (67%)
職員の対応についてご満足いただけましたか。			94% (77%)	96% (78%)	98% (79%)
待ち時間についてご満足いただけましたか。			90% (68%)	91% (73%)	91% (68%)

※前回目標値未満の実績を赤字にて記載

目標6	:訪問患者満足度
概要	:病院が提供する総合的な「サービス」に対し、患者がどれだけ満足しているかを訪問患者のアンケート調査により測る。5段階評価のうち「満足」と「やや満足」を足したものの割合を目標とする。また、「満足」単独の割合についても同様に目標とする。

項目	前回目標値 (括弧内は「満足」単独の割合)	目標値 (案)	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
当院のスタッフが提供するリハビリテーションについてご満足いただけましたか。	90% (70%)	90% (65%)	89% (68%)	91% (69%)	91% (68%)
職員の対応についてご満足いただけましたか。			95% (80%)	97% (81%)	96% (80%)
訪問のスケジュールについてご満足いただけましたか。			89% (67%)	94% (72%)	93% (69%)

※前回目標値未満の実績を赤字にて記載

(2) 管理の効率化に関する事項

目標7	: 病床稼働率
概要	: 効率のよい管理が行われているかどうかを測る。延べ病床稼働数に対する延べ入院患者数の割合により、病院のベッドがどれだけ使用されているかを示す。

前回目標値	目標値(案)
95. 0%	95. 0%

過去3年間平均	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
90. 9%	96. 2%	80. 0%	96. 5%

(3) 財務内容の改善に関する事項

目標8	: 経常収支比率
概要	: 医業収入と医業外収入の合計を、医業支出と医業外支出の合計で除して100を乗じて算出した割合により、安定的な経営が行われているかを測る。

前回目標値	目標値(案)
103. 0%	102. 0%

過去3年間平均	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
98. 7%	101. 8%	91. 3%	102. 9%

(参考資料)直近3ヵ年の実績詳細

(単位:千円)

	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
医業収益	3,378,241	3,069,652	3,640,747
医業外収益	34,656	37,720	38,716
医業費用	3,242,453	3,249,799	3,420,069
医業外費用 (本部配賦費含む)	108,320	123,853	154,247
経常利益	62,134	▲266,280	105,147
経常収支比率	101.8%	91.3%	102.9%

(4) その他管理に関する重要事項

1) 人材の育成その他適切な医療体制の構築に関する事項

目標9	: 全職種に対する教育プログラム実施
概要	: 質の高いリハビリを提供するために、職員に対して継続的な研修を行い、専門技術、モチベーションなどの向上を図る。

項目	内容
前回目標	全職種に対し教育プログラムを実施する
目標(案)	全職種に対し教育プログラムを実施する

令和3年度実績	実施していた
令和2年度実績	可能な限り実施していた
令和元年度実績	実施していた

参考: 令和3年度上半期の実施内容

内容
新採用者研修(部門研修・病棟研修・Web形式等含む)
管理職研修(部長、マネジャー)
輝生会研究発表会
NsCW部門研修
セラピストマネージャー研修
多職種連携研修
在宅フォローアップ研修
外部の研究大会・学会への参加

2)継続的なリハビリテーションサービスの提供体制の構築に関する事項

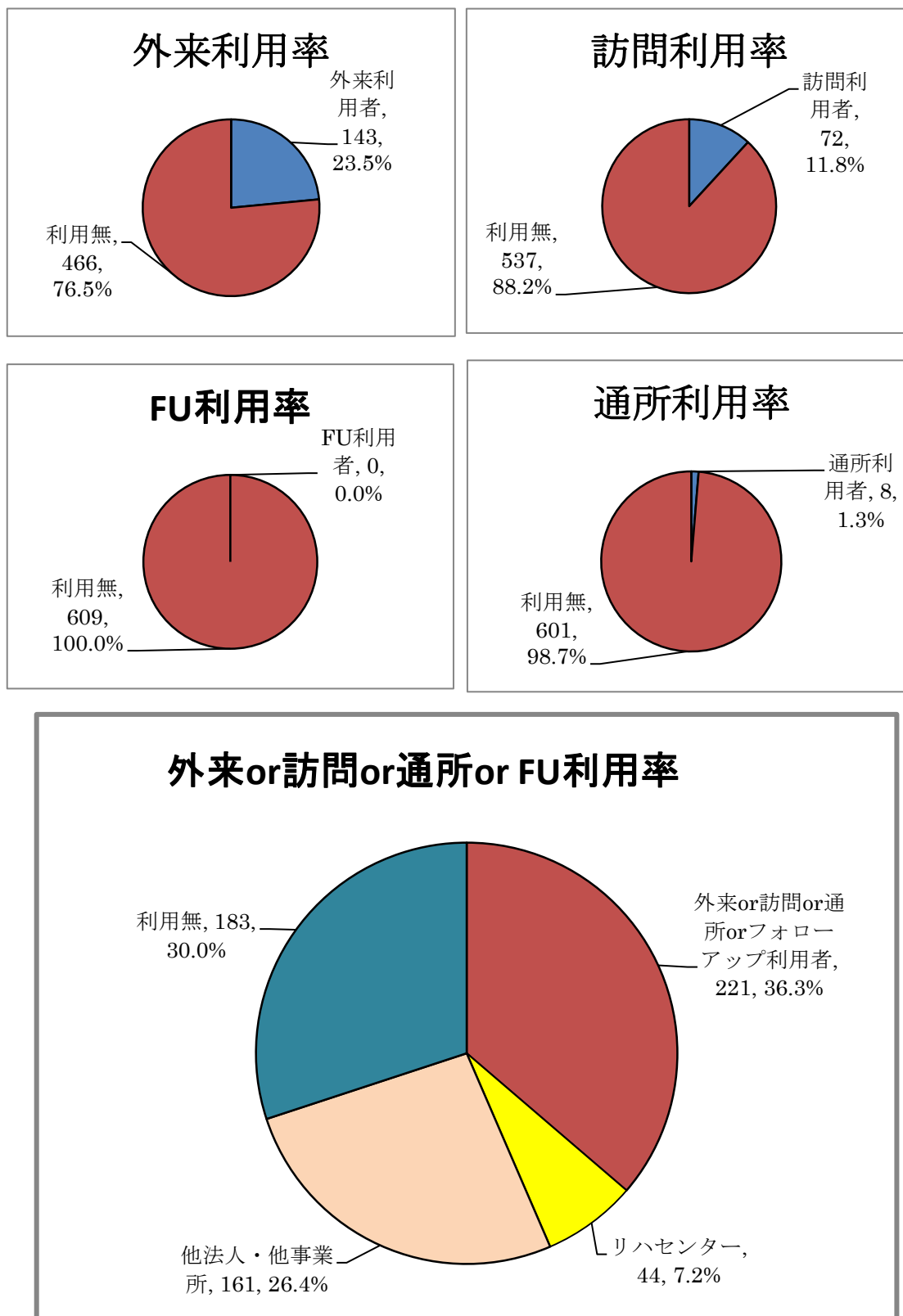
目標10	:継続的なリハビリテーションサービスの提供体制の構築に努める
概要	:各地域リハビリテーション関係者と緊密な連携をとり、継続的なリハビリテーションサービスの提供体制の構築に努める。

項目	内容
前回目標	退院患者全員に対し、外来・通所・訪問リハビリテーションサービスなどを実施するとともに、地域リハビリテーション関係者の紹介・相談・助言を行うなど退院後のフォローアップをする。また、維持期リハビリテーションの重要性について普及啓発を行うことで体制の構築に努める。
目標(案)	退院患者全員に対し、外来・通所・訪問リハビリテーションサービスなどを実施するとともに、地域リハビリテーション関係者の紹介・相談・助言を行うなど退院後のフォローアップをする。また、維持期リハビリテーションの重要性について普及啓発を行うことで体制の構築に努める。

令和3年度実績	努めていた
令和2年度実績	努めていた
令和元年度実績	努めていた

参考：令和3年度患者退院後の各種サービス利用率

(退院患者のうち、急性期病院への転院、死亡退院した者を除く 786人)



※フォローアップ外来…退院患者を対象に、退院後1か月、3か月に無料で身体機能評価を行い、身体機能に低下が認められるようであれば、患者のかかりつけ医、ケアマネジャー等と協議の上、必要なリハビリテーションサービスを提供するもの。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から中止している。

3) 情報公開及び地域住民との交流等に関する事項

目標11	: 地域住民との良好な関係を築くよう努める
概要	: 患者及びその家族が満足するサービスを提供するとともに、病院自身が地域住民から信頼されるよう努める。

項目	内容
前回目標	各年度ごとに計画を策定し、地域住民が参加する懇談会や交流会を開催するなど地域住民との良好な関係を築くよう努める
目標(案)	各年度ごとに計画を策定し、 <u>地域住民への情報発信や交流などを通して</u> 、地域住民との良好な関係を築くよう努める

令和3年度実績	新型コロナの影響により努められなかった
令和2年度実績	新型コロナの影響により努められなかった
令和元年度実績	努めていた

参考: 令和元年度実施内容

内容
市民公開講座(3月21日 コロナの影響により中止)
ロビーコンサート(毎週)
患者家族教室(計12回)

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて実施なし